

## 文教厚生常任委員会

文教厚生  
常任委員会

◎松枝 正浩 ○野村 和人 藤田 直仁 塩井川公子 山口 仁美 宮田 竜二  
前島 広紀 有村 隆志 ◎委員長 ○副委員長

ここに注目!

文教厚生常任委員会では、2件の議案・3件の陳情を審査しました。

### ゆたかな学びの実現・教職員定数改善のための 政府予算への意見書

賛成少数で不採択とし、項目4を修正した意見書を提出することに決定しました

#### 陳情項目

1. 中学校・高等学校での35人学級を早急に実現すること。また、さらなる少人数学級について検討すること。
2. 学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、加配教員の増員や、少数職種  
の配置増など教職員定数改善を推進すること。
3. 自治体で国の基準を下回る「学級編成基準の弾力的運用」の実施ができるよう加配  
の削減は行わないこと。
4. 特別支援学級籍の子どもを交流学級でも在籍児童生徒数としてカウントすること。



山口 仁美 議員

反対討論

項目4について、先生方のご苦労も理解できるが、ダブルカウントにより、正確な在籍数の把握や職員定数に基づく配置を難しくし、混乱を招く可能性があるため不採択とし、この文言ではない形での意見書の提出が望ましいと考える。



宮田 竜二 議員

賛成討論

項目4について、先日行われた議員と語り合い、現場の大変さを訴えておられた。特別支援学級籍と通常学級籍の人数も分かっているため、ダブルカウントすべきである。

項目1～3に、修正した項目4を付け加えて、意見書として提出することを決定しました。

(修正後) 4. 特別支援学級の子どもの交流学級で過ごす場合、教職員の過度な負担がなく、子供の教育環境が充実するように現状を把握し改善すること。

## マイナ保険証移行へ向けた健康保険証に対する陳情

健康保険証の存続を求める陳情

全会一致で不採択すべきものと決定しました



有村 隆志 議員

反対討論

マイナ保険証を利用することで、窓口で高額療養制度の限度額以上の支払いが不要になることや、就職、転職、引っ越し後も健康保険証として使えること、医療現場で働く人の負担軽減になるなどメリットがある。令和6年12月2日に、現行の健康保険証発行が終了するが、マイナンバーカード未取得でも、申請なしで無償交付される資格確認書で引き続き医療は受けられ、不都合はないものとする。

各常任委員会に付託された主な案件について、審査した内容を掲載しています  
結果については、10～11ページへ



# 委員会レポート



予算常任委員会

総務環境常任委員会

文教厚生常任委員会

産業建設常任委員会

## 予算常任委員会

予算常任委員会

◎宮田 竜二 ○竹下 智行 植山 太介 今吉 直樹 前田 幸一 山口 仁美  
久保 史睦 徳田 修和 阿多 己清 下深迫孝二 宮内 博 ◎委員長 ○副委員長

ここに注目!

予算常任委員会では、1件の議案について審査しました。

### 令和6年度霧島市一般会計補正予算(第2号)

11億2,500万9,000円を追加計上!

全会一致で可決すべきものと決定しました

- 主な内容1：(仮称)霧島市総合保健センター整備事業 **5億9,852万3,000円**  
 主な内容2：富隈小学校の「体育の山」撤去費用 **1,350万円**  
 主な内容3：能登半島地震被災地への市職員派遣費用 **61万円**

PickUP 委員間討議



富隈小学校の「体育の山」  
(令和4年10月から使用禁止中の遊具施設)



久保 史睦 議員

撤去後の利活用や、周辺の塀の安全対策など、総体的に幅広い視野から、予算の積み上げを考えていくことも今後の課題だ。



徳田 修和 議員

撤去に対して予算がついたことを高く評価するが、撤去した際に起こりうる危険リスクを把握調査して対応してほしい。



植山 太介 議員

夏休み期間中、9月10日までの撤去スケジュールのようだが、校庭を使用する子どもたちに影響が無いよう関係者との協議を求める。



今吉 直樹 議員

能登半島地震被災地への職員派遣が引き続き行われることは、能登地域の復興支援に貢献でき、派遣された職員のスキルアップにもつながり、本市にもいい影響があると思う。一方、職員が減る所属課への対応も同時に考えなければならない。



被災地支援の状況